

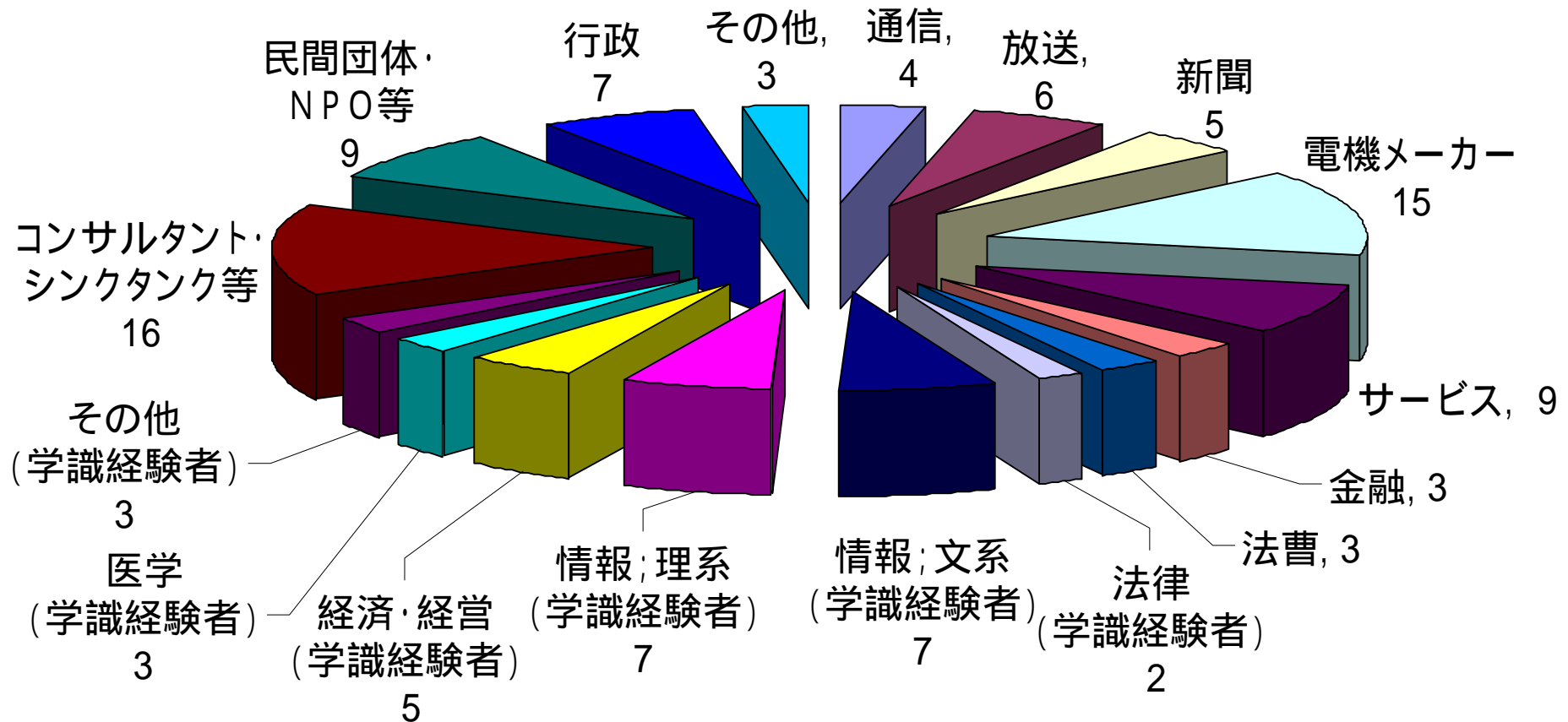
「ユビキタスネット社会に関する アンケート」調査結果

平成16年12月3日
利用環境WG

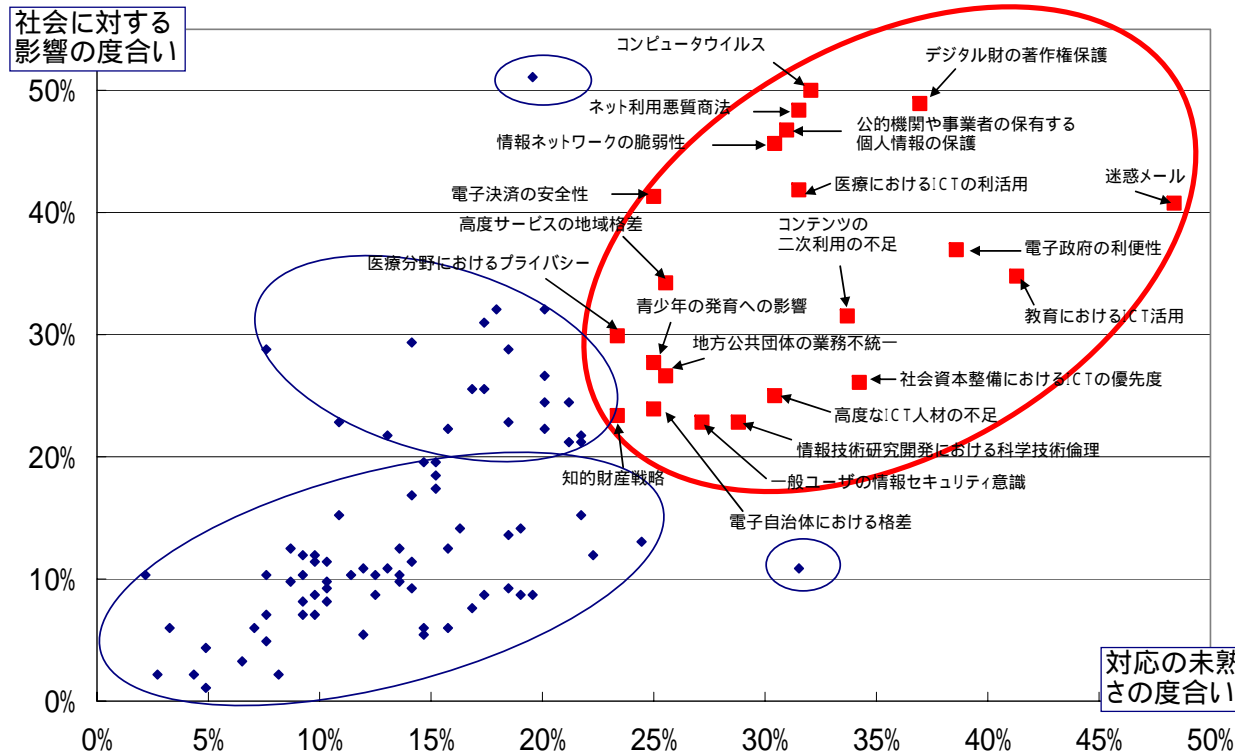
株式会社 野村総合研究所

「ユビキタスネット社会に関するアンケート」最終結果

アンケート調査	依頼対象者数	177人
	回答者数	107人
	回答率	60%



問2～5(深力度、波及度、対応の遅れ、実効性)を踏まえ、以下の21課題を優先的に取り組むべき具体的な「課題」として位置づけてはどうか。

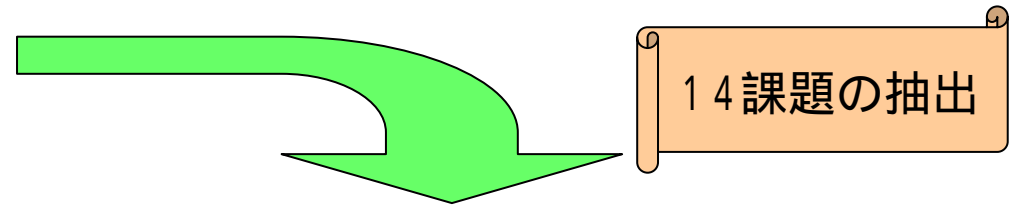
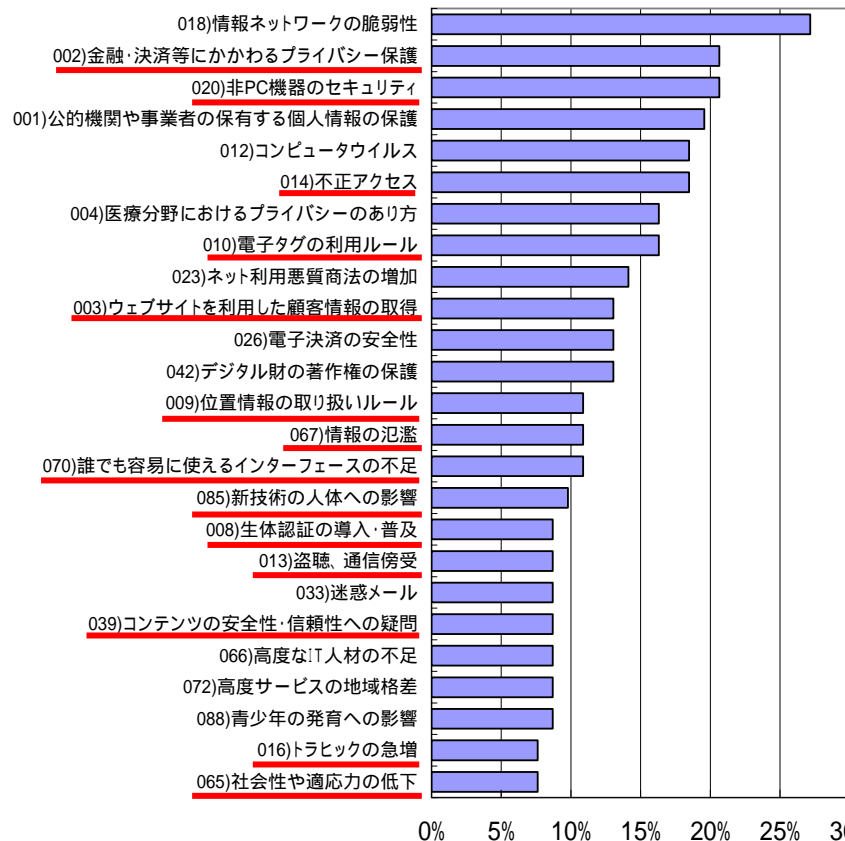


- ・迷惑メール
- ・デジタル財の著作権保護
- ・ネット利用悪質商法の増加
- ・公的機関等の保有する個人情報保護
- ・コンピュータウイルス
- ・電子政府の利便性
- ・教育におけるIT利活用
- ・医療におけるICT利活用
- ・情報ネットワークの脆弱性
- ・電子決済の安全性
- ・コンテンツの二次利用の不足
- ・高度サービスの地域格差
- ・社会資本整備におけるIT優先度
- ・高度なICT人材の不足
- ・医療分野におけるプライバシーのあり方
- ・情報技術の研究開発における科学技術倫理
- ・地方公共団体の業務の不統一
- ・電子自治体における格差
- ・一般ユーザの情報セキュリティ意識
- ・知的財産戦略の不足
- ・青少年の発育への影響

ユビキタスネット社会に特有の課題の明確化

「ユビキタスネット社会の実現によって不安や障害が助長・増幅される課題」として回答された中から、優先21課題に含まれていないものを吟味し、「ユビキタスネット社会に特有の課題」として明確化。

問6 無線、有線のネットワークが切れ目なく接続され、“いつでも、どこでも、何でも、誰でも”簡単にネットワークを利用できるようになるユビキタスネット社会の実現によって、特に強く、国民や企業における不安、障害が助長・増幅される可能性がある対応課題を、100の対応課題の中から5つ以内で選んで、下の記入欄に番号をご記入ください。



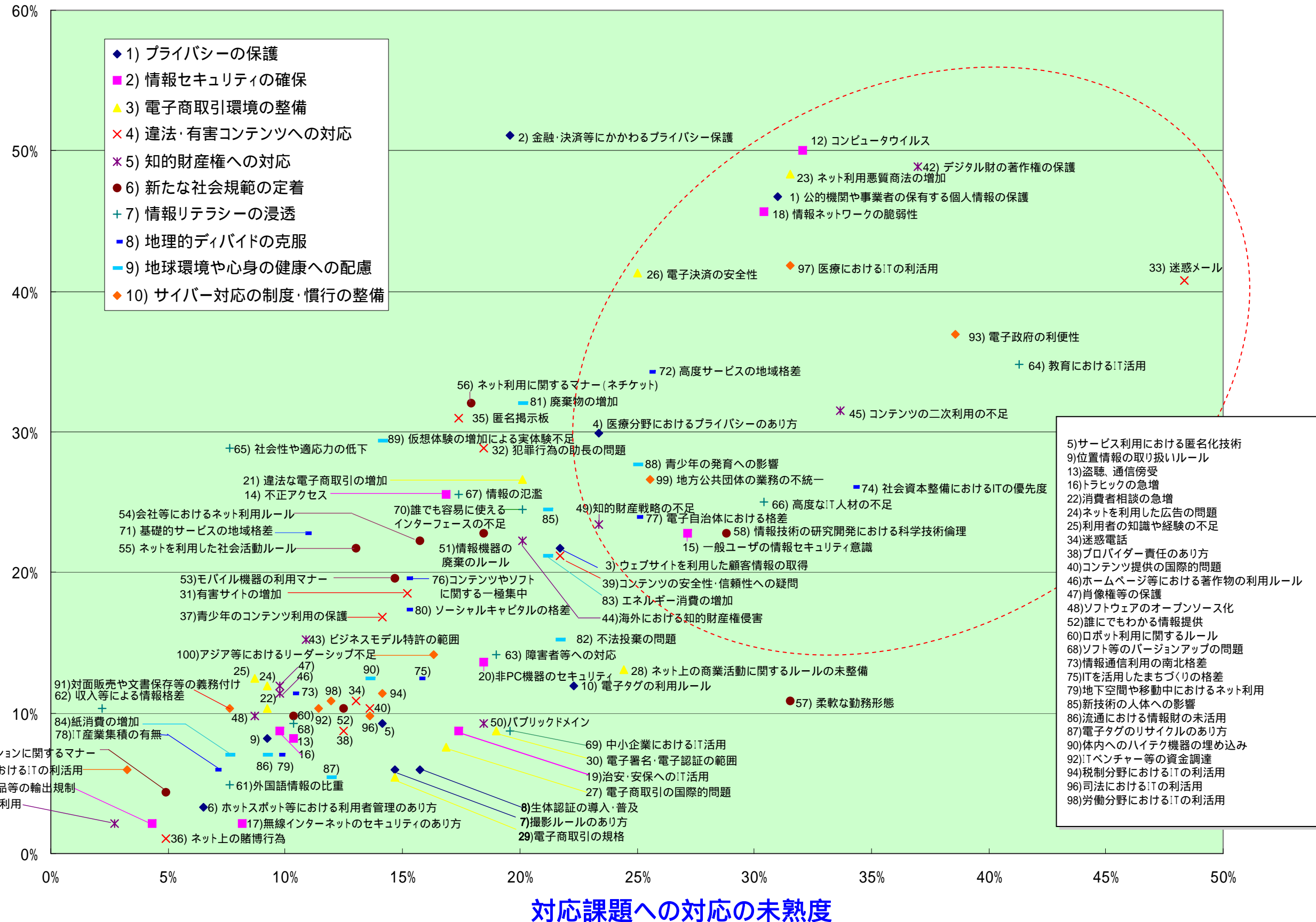
14課題の抽出

- ・金融・決済等にかかわるプライバシー保護
- ・ウェブサイトを利用した顧客情報取得
- ・生体認証の導入・普及
- ・位置情報の取り扱いルール
- ・電子タグの利用ルール
- ・盗聴、通信傍受
- ・不正アクセス
- ・トラヒックの急増
- ・非PC機器のセキュリティ
- ・コンテンツの安全性・信頼性への疑問
- ・社会性や適応力の低下
- ・情報の氾濫
- ・誰でも容易に使えるインターフェース
- ・新技術の人体への影響

下線付は、「ユビキタスネット社会の実現によって不安や障害が助長・増幅される課題」として回答された課題のうち、前述の「優先21課題」に入っていないものを示す。

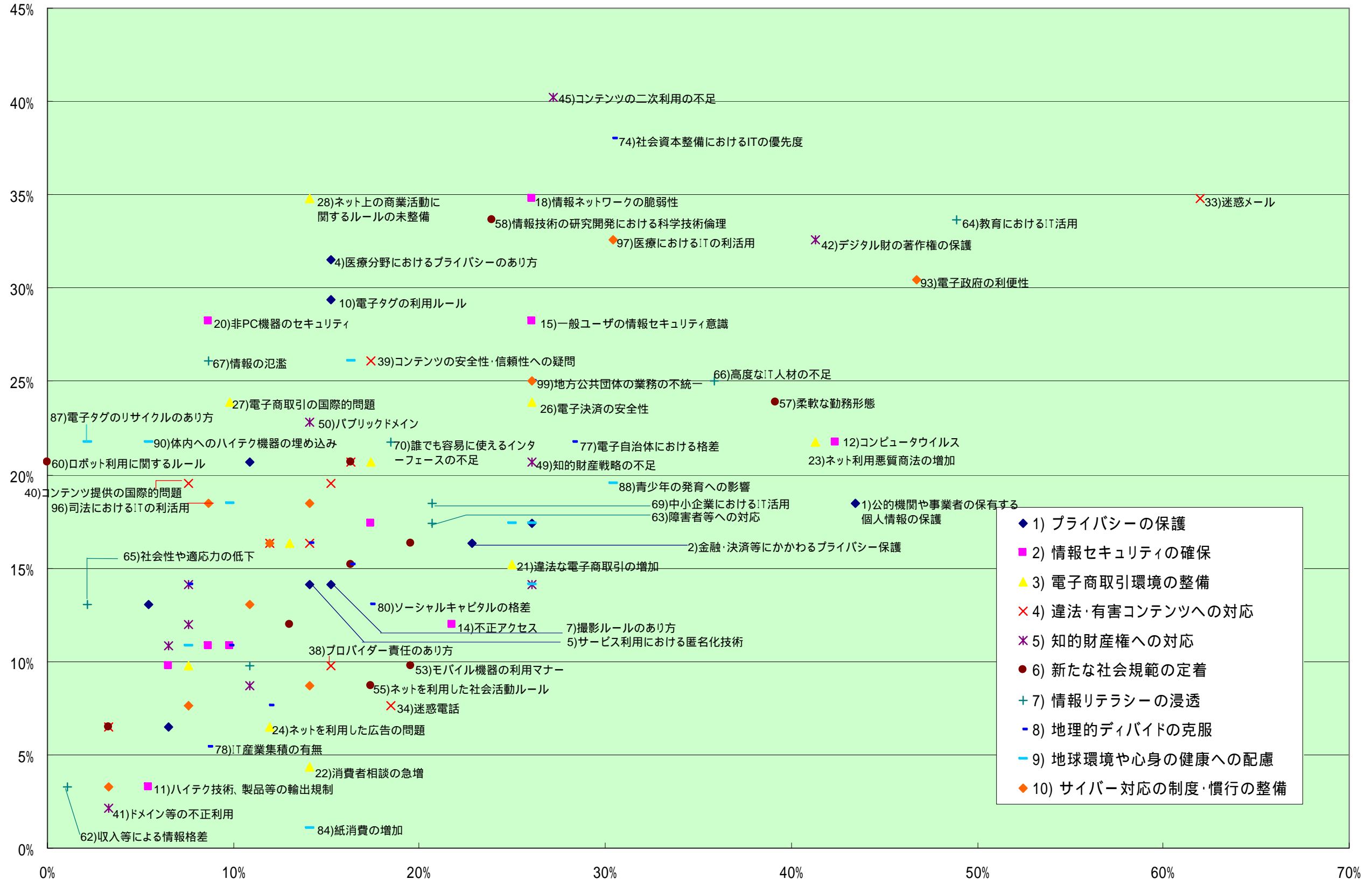
今後優先的に取り組むべき対応課題

対応課題の社会的影響度



(参考)対応課題への対応の未熟度

法制度面の対応や技術開発等の遅れ



法制度面の対応や技術開発等の実効性の低さ